

医療用品 04 整形用品  
高度管理医療機器 二次治癒ハイドロゲル創傷被覆・保護材  
JMDNコード 34082003

# ATKPAD

ATKパッド

日本製

9×13cm

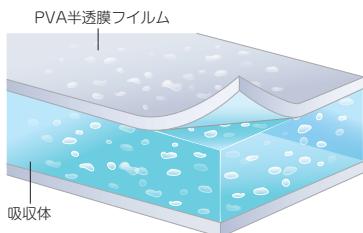


オカモト株式会社

# ATKパッドの名前について



## ATKパッドの構造



還元澱粉糖化物とアルギン酸ナトリウムのゲル状混合物（吸収体）をPVA（ポリビニルアルコール）半透膜フィルムで内包したシートです。

フィルムの外側に滲出液が触れた際、吸収体が半透膜を介して浸透圧によってフィルムの内側に水分、及び臭いの原因となるアミン類等の低分子化合物を吸収して保持します。なお、フィルムは透明なため、使用中の創の観察や滲出液の貯留量の把握が容易です。

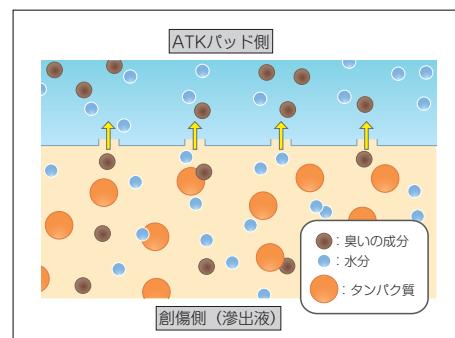
## ATKパッドの特長

- 浸透圧勾配により滲出液を吸収します。
- PVA（ポリビニルアルコール）半透膜フィルムが創の水分を吸収し、蒸散させます。
- 半透明のフィルムのため、貼付した状態で滲出液や創の状態を視認できます。
- シートには裏表がありません（両面使用できます）。

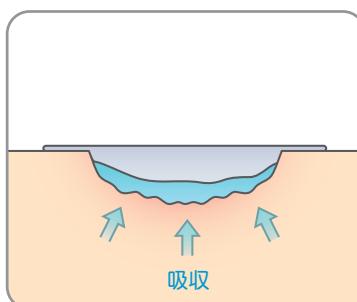
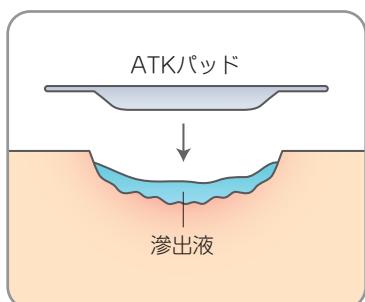
（オカモト株式会社社内資料：ATKパッド基本性能、製品の安全性）

半透膜フィルムは、水分や臭い成分などを吸収して製品内に取り込むことができます。一方で、赤血球などの細胞やタンパク質などの大きな物質は半透膜フィルムを通過することができません。

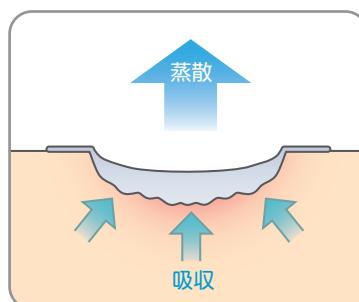
したがって、創からの滲出液の水分や臭いを吸収し、創治癒に必要な細胞やタンパク質等は創に残存します。



## 吸水と蒸散のイメージ



滲出液に触れると半透膜フィルムが柔らかくなり吸水します



吸水と蒸散を行い、創に密着したまま  
湿潤環境をコントロールします

# ATKパッドの使用症例

症例：70代男性、左大転子部褥瘡（D3）への使用例（訪問看護による対応）

	初回訪問時	1週目
創の状態	  	 <p>渗出液が中等量のため、ATKパッドの適応である</p> 
処置	1日1回の創洗浄。ポビドンヨード・シュガー軟膏を塗布し、ガーゼで被覆。特別訪問看護	ATKパッドを1日1回交換
サイズ	長径3.5cm×短径2cm(ポケット外周5.5cm×3cm) DESIGN-R® 25点、深さD3	長径2.5cm×短径1.5cm(ポケット外周4.5cm×1.5cm) DESIGN-R® 19点、深さD3

## 使用手順

◎基本は2~3日に1回、最長で7日間を目安に交換します。

◎はじめは短期交換とし、吸水状況を見ながら日数を伸ばしていきます。

※褥瘡モデル使用



創部と周囲皮膚を微温湯で軽く流し、汚れを落とします



泡立てた弱酸性の洗浄剤を用いて洗浄します



創部と周囲皮膚に泡が残らないように洗い流します



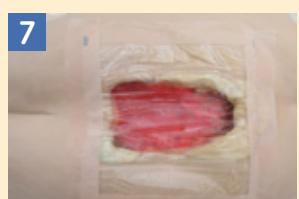
ガーゼで水分を拭き取ります  
ATKパッドが創全体を被覆できるサイズであることを確認してください



創部にATKパッドを貼ります。シワが寄らないように密着させます



ATKパッドの四方の縁に合わせ、医療用テープで固定します



半透膜フィルムが渗出液を吸収し、密着します



吸収した渗出液が袋の一方に偏るようになれば、交換の時期です

💡 ATKパッドを取り出す際は、創部に接触する面にはできるだけ触れないようにご注意ください

### ■使用例

\*静脈うつ滞性皮膚潰瘍、褥瘡潰瘍、全層皮膚欠損創など。

\*壊死組織が多く、渗出液が中等量程度の創傷・褥瘡など。

※壊死組織が多く、膿汁が排出されたり、感染が疑われるような創は適応にはなりません。

### ■交換時期

(1) 以下に該当する場合は、本品を交換してください。

①吸収した渗出液が袋内の方に偏るようになれば、交換してください。(最大吸水量の目安)。

②創部の状態から創感染に注意を払う場合。

③PVA半透膜フィルムが破れ、ゲル状混合物が外部へ漏れている場合。

④渗出液を吸収したゲル状混合物が変色または濁った場合。

⑤PVA半透膜フィルムが変色した場合。

(2) 以下の場合は頻繁に適用部位を観察し、上記(1)に相当する場合は交換してください。

①患者がかぶれやすい体质の場合。

②創との密着状態を維持することが難しい場合。

③創部周辺に荷重や摩擦が生じる場合。

(3) 上記(1)及び(2)以外の場合は、適用部位を観察しながら通常最長で7日間を目安に交換してください。

訪問看護による処置の頻度：毎日→週3回→週2回に減少 約3か月で治癒

4週目	10週目	13週目
		
<p>滲出液が皮膚に付着せず、浸軟と発赤が改善。 創部の臭気なし</p>		
ATKパッドを1日1回交換  長径2cm×短径1.5cm DESIGN-R® 19点 深さD3	3日に1回の創洗浄とATKパッドの交換。通常訪問看護	白色ワセリン、ガーゼ、ポリウレタンフィルムに変更  上皮化

ATKパッドの褥瘡治癒促進効果の検討  
2024年5月 公益財団法人宮城厚生協会 坂総合病院 皮膚・排泄ケア認定看護師／看護師長 中川明子先生

## 使用上のポイント・注意点

### 排泄物の汚染が心配な場合



肛門側にコットン綿を丸めて止める方法もあります

### ATKパッドの交換の目安

#### ●交換の目安



滲出液が多い場合は交換回数を増やすか、他の方法を選択します

### 痛みや皮膚の発赤が増強した場合



創部の痛みが増したり、周囲皮膚が赤くなったときには、医師の診察を受けましょう

### ポケットがある場合



軽くパッドを入れます。少しシワが寄りますが、問題ありません

#### ●滲出液が多すぎる



## 皮膚トラブル予防のポイント

### ATKパッドの剥がし方



剥がす際は皮膚を押さえながら一端を静かに持ち上げ、創の周囲全体を注意深く剥がします

### ATKパッドのサイズの選択



創のサイズより貼付面が1cm以上余裕のあるATKパッドを選択しましょう

### 踵の褥瘡の保護



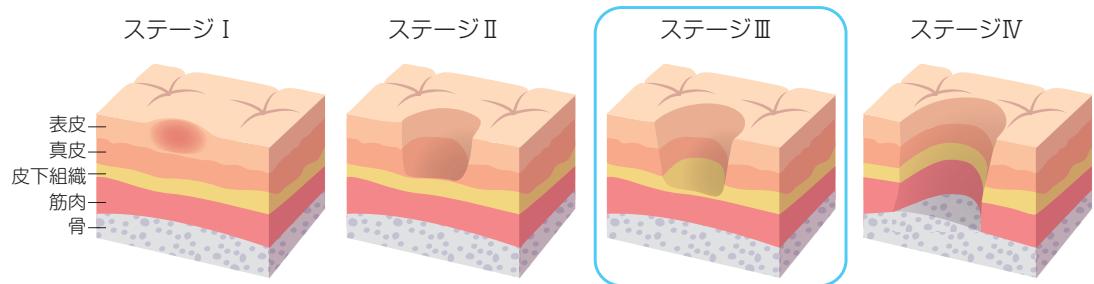
踵の褥瘡が十分に保護されている



踵の褥瘡がテープ部分に接触し、保護されていない

# 保険適用となる褥瘡ステージ

- ATKパッドが保険適用となる褥瘡は、NPUAP/EPUAP分類による褥瘡ステージ分類の「ステージIII（全層皮膚欠損）」になります。



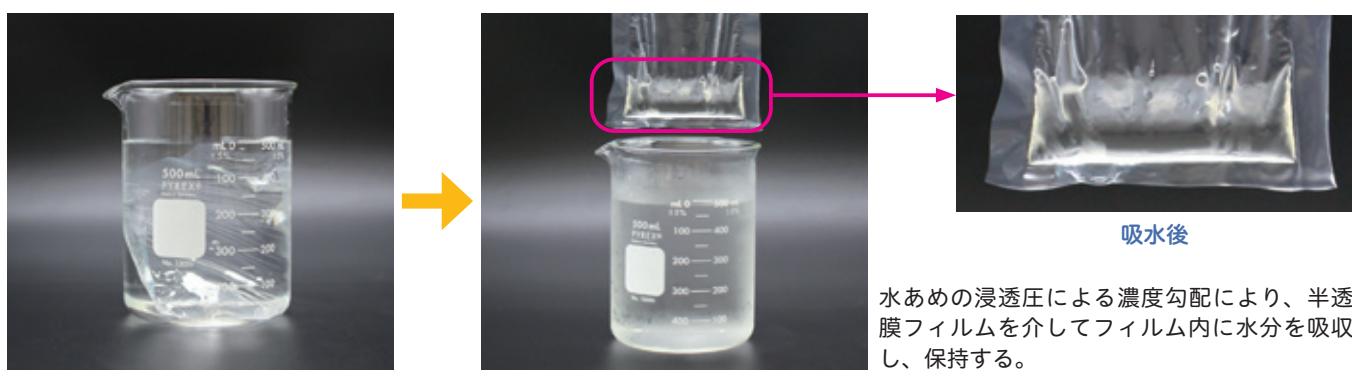
## ATKパッドの保険上の適用について

皮膚欠損用創傷被覆材	保険上の適用	薬事上の適用	償還価格
真皮に至る創傷用	↔	↔	6円/cm <sup>2</sup>
皮下組織に至る創傷用（標準）	↔	↔↑↓	10円/cm <sup>2</sup>
筋・骨に至る創傷用	↔		25円/cm <sup>2</sup>

ATKパッドは、高度管理医療機器の皮下組織に至る創傷用で、標準型に該当します。  
10円/cm<sup>2</sup>×85cm<sup>2</sup>のため、**償還価格は850円/枚**となります。

## ATKパッドの吸水性・半透性

### 吸水性実験 水を入れたビーカーの中にATKパッドを入れ、12時間後に引き上げる



水あめの浸透圧による濃度勾配により、半透膜フィルムを介してフィルム内に水分を吸収し、保持する。

### 牛乳を用いた半透性実験 牛乳を入れたビーカーの中にATKパッドを入れ、12時間後に引き上げる



分子の小さい水分等をフィルム内に吸収する。分子の大きい成分（牛乳の場合、脂肪やタンパク質）はフィルムを透過しない。

医療用品04整形用品  
高度管理医療機器  
二次治癒ハイドロゲル創傷被覆・保護材

ガンマ線滅菌

# ATK PAD

ATKパッド

## 【保管方法及び有効期間等】

- 保管方法  
直射日光と高温多湿を避けること
- 有効期間  
製造月から3年  
使用期限：個包装及びパッケージに記載 [自己認証により設定]

## 警告

明らかな臨床的創感染を有する患者には慎重に使用すること。  
[感染を悪化するおそれがある。臨床的創感染を有する患者であっても感染に対する薬剤治療や全身・局所管理をしながら創傷被覆材を併用することが有益と医師が判断する場合には、局所の観察を十分に行い、慎重に使用すること]

## 【禁忌・禁止】

再使用禁止

JMDNコード	34082003
医療機器承認番号	30400BZX00184000

製品番号	ATK01
サイズ	9×13cm (7.2×11.8) cm
算定面積	85cm <sup>2</sup>
入数	5枚/箱

## 保険適用

種類	特定保険医療材料
保険請求名	皮膚欠損用創傷被覆材
保険適用範囲	皮下組織に至る創傷用①標準型
保険請求	償還価格による

## 使用上の注意

- 重要な基本的注意  
1) 本品の使用中に、創に本品が原因と推察される臨床的感染が起きた場合には直ちに使用を中止し、適切な治療を行う。また、患者の全身状態の悪化、全身管理の不足等によっても創の感染症状が現れることがある。感染の兆候に十分注意し、臨床的感染が認められた場合には、原則として直ちに使用を中止し、適切な治療を行うこと。
- 2) 本品使用中に皮膚障害と思われる症状が現れた場合には直ちに使用を中止し、適切な治療を行うこと。
- 3) 感染症を伴う創傷、糖尿病性創傷、動脈不全等が原因の慢性創傷へ使用する場合は、頻繁に十分な観察を行うこと。
- 4) 患者の体重が使用中の本品へ過剰に掛かる場合には使用を避けること。
2. 不具合・有害事象  
一般的な創傷被覆・保護材の使用における「不具合・有害事象」
  - ・固着
  - ・創の感染症
  - ・創傷及び周囲の皮膚障害(表皮剥離、浸軟、浮腫、水疱、発赤、びらん、そう痒、アレルギー、接触性皮膚炎)
  - ・壊死組織の増加
  - ・疼痛
3. その他の注意  
1) 本品は開封後直ちに使用すること。  
2) 本品を再滅菌して使用しないこと。  
3) ゲル状混合物が漏れた場合は交換する。漏れたゲル状混合物が創または創周囲の皮膚に付着した場合は生理食塩水または蒸留水で拭き取り、消毒を行うこと。取り外した製品はゲル状混合物が漏れないように密封して廃棄すること。  
4) 使用前の本品の包装破損やフィルム外面にゲル状混合物が付着している場合は使用しないこと。  
5) MRIなどの造影装置を使用する場合は必ず取り外すこと。  
6) 使用期限を超えた製品は使用しないこと。  
7) 治療薬を塗って本品を使用する場合、吸水性能が低下するおそれがあるので注意すること。

詳細は、電子化された添付文書をご参照ください。電子化された添付文書の改訂にご留意ください。

## 参考文献

- ・「浸透圧脱水技術の食品への応用 - グルメ時代における食品の品質保持技術」藤田和雄, 化学と工業 1987, 40, 769
- ・昭和電工株式会社の社内資料「ピチット脱水による臭み除去・旨味濃縮効果の検証」(1990年1月20日, 川崎研究室(扇町), 和田)

ATK®はオカモト㈱の登録商標です。

添付文書閲覧アプリ「添文ナビ®」を下記二次元バーコードよりインストールしてください。最新の情報は、GS1バーコードを読み取ることで閲覧出来ます。



## 製造販売元



オカモト株式会社

<https://www.okamoto-inc.jp/>

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目27番地12号

## 文献請求先及び問い合わせ先

手袋・メディカル部 LX機能品課  
電話 : 03-3817-4172  
受付時間 / 9:00~17:00  
(土日・祝日・会社休日を除く)



2025年8月作成